

テーマ名	土の建築体験	
担当教員	中村 航 講師	
学部：分野	工学部：建築・土木分野(建築学コース)	
内 容	<p>土は何処でも採れて、枯渇の心配がなく、製造・廃棄にエネルギーを消費しないなど、今後の利用が期待される自然素材である。日本で土を使った建築といえば左官であるが、世界には日干しレンガや突き固めた土で壁を作る方法がある。</p> <p>この授業では、土積み、日干しレンガ作製・積み、版築、伝統的な左官3工程（小舞掻き、土塗り、漆喰塗り）の7つの土の建築工事を体験できる。日本でも今後、様々な改良がくわえられて、これらの工事が採用される可能性が高い。また、土の利点である、誰でも参加できる、素人施工も可能という点で、子供から高齢者まで建築に参加できることも体験してもらえると考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 必要人員：教員 1 名、手伝い学生 4～5 名 ● 時間：授業は 3 時間程度あれば（講義もあわせると長くできます） ● 場所：汚れてもよい、何も無い教室が最低 1 部屋（洗い場が近いと良い） ● 必要なもの：作業用のテーブル 3 つ程度、道具はこちらから持参（エレベーターのない 2 階以上は運搬の協力が必要）だが、運搬に前後半日必要 ● 参加に必要なもの：汚れてもよい服装 <p>※全体を通して足利大学に来てもらうのも可</p>	
写真・画像	 <p>体験授業の様子</p>	 <p>漆喰塗りの様子</p>
対象生徒	小学校低学年～高齢者	